



リハビリテーション医学講座／リハビリテーション センター

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000787

長谷川有史. 霧と摩擦の中から 福島医大で震災患者対応にあたった一医師として. 放射線災害医療サマーセミナー; 20170821-26; 福島, 檜葉. 報告書. 11.

長谷川有史. 福島県立医科大学の取組み これまでとこれから. 平成 29 年度地域原子力災害時医療連携推進協議会 (福島県立医科大学担当) ; 20170911; 東京.

長谷川有史. 放射線の基礎知識と健康への影響. 平成 29 年度放射線の健康影響等に関する応用研修; 20170913; 福島.

長谷川有史. あたらしい原子災害医療体制 現状と課題. 平成 29 年度東北ブロック DMAT 参集訓練研修会; 20171001; 福島.

長谷川有史. 「変化に対応する力」(最近出会った文章から). 福島県立医科大学第 7 回光翔祭広報用パンフレット; 20171014; 福島.

長谷川有史. 放射線の基礎知識と健康への影響. 平成 29 年度放射線の健康影響等に関する応用研修; 20171019; 南相馬.

長谷川有史. 来るべき原子力災害に向かって～救急医はどのように対処すべきか?～司会. 第 45 回日本救急医学会総会・学術集会; 20171024-26; 大阪. 講演集. 16.

長谷川有史. 実践研修 (原子力災害時の医療) 講義 原子力災害医療に対する医療機関の対応／講義 原子力災害時における対応事例／実習 原子力災害医療実習. 原子力規制庁委託 原子力災害時の医療に係わる研修講師養成講座; 20171118-19; 福島.

長谷川有史. 福島県立医科大学附属病院と原子力災害医療 これまでとこれから. 原子力規制委員会 伴委員による高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センター視察; 20171120; 福島.

リハビリテーション医学講座／リハビリテーションセンター

論 文

〔原 著〕

二村美也子, 藤井正純, 小林俊輔, 市川優寛, 高橋 勝, 大井直往, 齋藤 清. 左側頭頭頂葉腫瘍術後に出現した右上肢優位の道具使用困難を呈した一例. 臨床神経心理. 201712; 28:17-24.

十文字雄一，大歳憲一，嶋原智彦，大井直往，加賀孝弘，加藤欽志，猪狩貴弘，佐藤亮平．高校野球選手の肩、肘、腰部障害の有病割合と特徴 福島県での検討．日本臨床スポーツ医学会誌．201708；25(3):400-407.

研究発表等

〔研究発表〕

二村美也子，藤井正純，前澤 聡，市川優寛，小林俊輔，高橋 勝，大井直往，佐久間潤，齋藤 清．左側頭頂葉腫瘍摘出後に出現した右上肢優位の道具使用困難を呈した一例．第 28 回東北神経心理懇話会；20170211；仙台．

嶋原和昭，高橋 勝，畑下 智，川上亮一，大井直往．7 指切断再接着術後のハンドセラピー いかに使える手にするか．第 29 回日本ハンドセラピー学会；20170429；名古屋．

二村美也子，藤井正純，前澤 聡，市川優寛，小林俊輔，高橋 勝，大井直往，佐久間潤，齋藤 清．覚醒下手術後、言語機能は保たれた一方で右上肢優位の道具使用困難を呈した一例．第 22 回日本脳腫瘍の外科学会；20170908-09；鹿児島．

阿部純平，鈴木秀基，嶋原智彦，小野洋子，佐藤真理，大井直往．サッカー競技時に膝前十字靱帯損傷を呈した症例：パワーポジション、フォワードランジ動作に着目して．第 18 回福島県理学療法士会学術集会；20170918；福島．

小林寛崇，嶋原智彦，川上亮一，大井直往．遠位脛骨開放骨折後に遊離皮弁術が施行され足関節背屈制限を生じた症例：遊離皮弁部での超音波による治療の有用性の検討．第 18 回福島県理学療法士会学術集会；20170918；福島．

二村美也子，藤井正純，小林俊輔，蛭田 亮，嶋田裕記，岩楯兼尚，市川優寛，前澤 聡，大井直往，佐久間潤，齋藤 清．頭頂葉腫瘍摘出後の麻痺によらない動作障害を覚醒下手術でどう避けるか．第 15 回日本 awake surgery 学会；20170930；東京．

二村美也子，藤井正純，小林俊輔，前澤 聡，市川優寛，大井直往，佐久間潤，齋藤 清．頭頂葉腫瘍摘出後の麻痺によらない動作障害を覚醒下手術でどう避けるか．第 20 回福島神経疾患治療研究会；20171209；郡山．

嶋原和昭，高橋 勝，大歳憲一，大井直往，矢吹省司．入浴用肩関節外転装具導入による鏡視下腱板修復術後患者の入浴時の使用感の変化 ペットボトル自助具との比較．第 51 回日本作業療法学会；20170922；東京．

嶋原智彦，大歳憲一，鈴木秀基，渡辺祐樹，猪狩貴弘，加賀孝弘，大井直往．高校野球選手の疲労と障害の関係．第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会；20171118-19；東京．

鈴木秀基，大歳憲一，樫村孝憲，嶋原智彦，大井直往，加藤欽志，渡邊和之．成長期 Osgood-Schlatter 病と下肢体幹機能障害．第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会；20171118-19；東京．

渡辺祐樹，加藤欽志，大歳憲一，加賀孝弘，猪狩貴弘，金内洋一，佐藤亮平，増子遼介，今野裕樹，嶋原智

彦, 十文字雄一, 紺野慎一. 高校野球選手の Core Stability と腰痛. 第 28 回日本臨床スポーツ医学会学術集会; 20171118-19; 東京.

〔招待講演〕

大井直往. リハビリテーション医が ST に望むこと : 地域の中での関わり方とその役割. 福島県言語聴覚士会学術講演会; 20170312; 郡山.

大井直往. リハビリテーションのリスク管理. 大原綜合病院リハビリテーション科講演会; 20171118; 福島.

大井直往. 運動器リハビリテーション. 県中回復期リハビリテーション病棟 4 病院連絡協議会学術講演会; 20171125; 郡山.

その他の業績・作品等

大井直往. 福島県石川町健康ウォーク講師. 20171022. スポーツ活動.

人間科学講座 生命倫理学分野

論文

〔原 著〕

末永恵子. 731 部隊における昆虫学者篠田統の活動. 15 年戦争と日本の医学医療研究会会誌. 201705; 17(2):7-16.

末永恵子. 戸田正三と興亜民俗生活衛生研究所 (上). 15 年戦争と日本の医学医療研究会会誌. 201711; 18(1):7-21.

研究発表等

〔研究発表〕

末永恵子. 興亜民族生活科学研究所と戸田正三. 15 年戦争と日本の医学医療研究会第 41 回研究会; 20170325; 京都.

末永恵子. 京都帝国大学医学部における戦時動員と戦後. 第 118 回日本医史学会総会・学術大会; 20170611; 京都.